



こども農園収穫体験

9月16日、こども農園にて作物の収穫体験が行われました。

当日は、子育て支援センターに通う子どもたちが参加し、じゃがいもやかぼちゃなどの作物の収穫作業を体験しました。

子どもたちは、大きく育った作物の一つひとつに取り、袋がいっぱいになるまで収穫していました。



高見榮太郎さん 100歳お祝い

9月14日に100歳の誕生日を迎えられた高見榮太郎さん（上斜里南）へ、櫛引町長より記念品が贈られました。

清里町の男性高齢者の中で最年長者となる高見さんは、ご家族に見守られながら記念品を受け取ると、「110歳まで頑張りたいと思います」と、今後の意気込みを元気に話されていました。



JA清里町女性部が町へ消毒液を寄付

9月9日、JA清里町女性部の前中部長をはじめ役員3名が来庁され、町へ消毒液200リットルを寄付していただきました。

いただいた消毒液は、今後各公共施設などで使用される予定で、新型コロナウイルスをはじめとする各種感染症予防のため、有効に活用させていただきます。



みどりまち地域食堂「ポッケ」

8月20日、緑センターにて有志の実行委員会による地域食堂が開設され、多くの地域住民の方々が集まりました。

この取り組みは、一人暮らしの高齢者が多い緑地域において、食事を通じたコミュニケーションの場を提供することで、人とのつながりを再認識し、何気ない会話や悩みごとの相談など、一つの居場所作りになればと発案されたものです。



建物火災消火訓練

9月17日、消防清里分署による建物火災を想定した消火訓練が行われました。

スモークマシンを使用し、取り壊し予定の公営住宅に煙を充満させた状態で実施された今回の訓練では、酸素ボンベを背負った隊員たちが、お互いの連携を確認しながら、要救助者がいると想定した現場に突入していました。



清里小学校でマラソン記録会

9月中旬、2日間に分けて清里小学校の全校児童による校内マラソン記録会が開催されました。

この記録会は、新型コロナウイルスの影響で中止となった斜里岳ロードレース大会に替わり、子どもたちの体力向上を目指して行われたものです。

子どもたちは、駆けつけた保護者の方々の声援を受けながら、一生懸命ゴールを目指していました。



最新システムを搭載した消防車を導入

清里消防団2分団（札弦地区）に、清里町で初めてCAFSシステムを搭載した新型ポンプ車が導入されました。

CAFSとは、水と消火薬剤を混合して泡消火する装置で、通常の水消火に比べて少量の水で大きな消火効力が得られるものです。

この最新の消火システムが備わる消防車の導入により、清里消防団の更なる災害対応力の向上が期待されます。



きよ～る 2020 収穫祭

9月6日、マスクの着用や検温の実施など、新北海道スタイルが徹底される中、きよ～る2020収穫祭が行われました。

清里町農協青年部による農産物の販売や手打ちそば同好会による生そばなどの販売が行われたほか、この日に発売となったおやき「清里焼き」のブースには、順番待ちの長い列ができていました。

当日は、1,000人を超える来場者が訪れる盛況ぶりとなりました。